

遂に娘婿・クシユナー氏も捜査対象に

「ロシア・ゲート」で 七転八倒のトランプ大統領

国際ジャーナリスト
泉 洋海

異例の特別検査官任命



特別検察官となったロバート・モラー氏

昨年の米大統領選にロシアが干渉したとされる問題は、トランプ米大統領の弾劾裁判にまで発展する見通しとなつた。当時のトランプ陣営がロシア側と共謀した可能性を捜査していた連邦捜査局（FBI）に対し、トランプ氏が捜査を妨げる「司法妨害」をした疑惑が高まつてゐるためだ。カギを握るのは、5月初旬に突然解任されたFBIのコニー前長官。野

これにはロシアが関わつてゐるではとの憶測があり、さらにトランプ陣営の幹部がロシアと共に謀し、クリントン陣営を妨害したのではないかとの疑惑が持たれてゐる。

これに関してFBIは今年2月、トランプ氏の側近であるフリン前大統領補佐官が、駐ロシア大使に将来の対口制裁緩和の密約をしたのではないかと疑い、捜査していた。

トランプ氏は「彼を見逃してやつて

党民主党は、弾劾裁判を視野に真相究明に乗り出す構えだ。

かつて共和党が民主党の盗聴を図った問題で、共和党のニクソン大統領が捜査を妨害し、辞任に追い込まれた「ウォーターゲート事件」になぞらえ、「ロシアゲート」と呼ばれている。

ホワイトハウスは、コニー前長官の解任は、クリントン元国務長官のメール問題で訴追を見送つたことなどを問題視したとしているが、政権発足から数カ月たつてからの解任を疑問視する声が上がりつてゐる。

一方、米ニューヨーク・タイムズ紙はトランプ氏がロシアのラブロフ外相と会談した時に、コニー氏のことを「変人。いかれている」と称し、「私は大変な圧力を受けたが、取り除かれた」などと話していたと報じた。これが本当ならば、トランプ氏がFBIからの捜査を「圧力」と感じていたため、コニー氏を解任したと取れる。司法妨害があつたかどうかを認定する調査に影響を与える可能性がある。

世論の批判を恐れてか特別検査官任命に舵を切つた司法省



さらに、米ワシントン・ポスト紙などは、トランプ氏がロシアのラブロフ外相とキスリヤク駐米大使に、過激派組織「イスラム国」（IS）に関する機密情報を漏らした、と報じた。

情報はイスラエルから提供されたとされる。情報にはISのテロ計画など



追いつめられるトランプ大統領(ホワイトハウス)

「政治家に対する魔女狩りだ」

「米国史上最大の、政治家に対する



追いつめられるトランプ大統領(ホワイトハウス)

「政治家に対する魔女狩りだ」

同盟国を通じて入手した纖細な情報も含まれており、情報提供者が危険に晒される恐れもある。トランプ氏は機密の扱いや、同盟国とのルールも知らないと批判が高まっている。

事態を重く見た米司法省は、ロシアンとしてロバート・モラー元FBI検査官としてFBI長官を任命した。モラー氏はブッシュニア、オバマ時代の2001年～13年にFBI長官を務めた。

公平な硬骨漢として知られ、共和民主両党に評価が高い。

モラー氏の長官時代にコニー氏は副長官として使っており、トランプ政権の捜査妨害疑惑に関し、証言や証拠が得やすい環境にあるといえる。

司法省は当初、特別検査官の任命

に消極的だったトランプ氏に近く、任命権限を持つセッションズ司法長官は、キスリヤク駐米ロシア大使と接觸したとして、関連の調査から外れていた。このため、ローゼンスタイン副長官が任命の判断を代行した。特別検査官任命の判断に傾いたのは、コニー前長官の解任を巡り、トランプ氏がツイッターなどで放言を繰り返し、これを司法省がかばう格好となつたことから、世論の矛先が司法省に向いたからだった。

失った信頼を回復するため、検査官を任命し、疑惑追及への姿勢を明確にしたといえる。コニー氏は、トランプ氏と会った際に話した内容を全てメモに記録し、複数のFBI幹部と共に有していると言った。同氏は夕食会などコニー氏との3度の会話で、自らが捜査の対象になつていないことを確認したとされ、トランプ氏がFBIの捜査に圧力を掛けた可能性は否定できない。

コニー氏のメモや証言で、トランプ氏側の「捜査妨害」が認められるかが今後のポイントになる。

過去には、ビル・クリントン氏も大統領時代、不倫のもみ消し疑惑で弾劾裁判にかけられたが、有罪とする議員が出席議員の3分の2に満たず、大統領職の罷免は免れた。

トランプ氏が弾劾裁判で辞任に追い込まれれば、米国史上初となる。今後、疑惑を追及するFBIとの闘いはどうやら軍配が上がるのか。しばらくは、米国政治から目が離せない。

トランプ氏は自らの首を絞めることになると指摘する。つまり、コニー氏解任がトランプ氏の「転落の始まり」になるというのだ。さらに、米紙によると、トランプ氏の長女の夫で、同氏の信望が最も厚いジャレッド・クシュナー大統領上級顧問がロシア疑惑に絡み、捜査線上に浮上していると言う。トランプ政権が危機的状態にあることは否めない。

かつて1972年、民主党全国委員会本部に盗聴器が仕掛けられ、なったウォーターゲート事件は、当時のニクソン大統領が捜査に介入し

クシュナー大統領上級顧問

